


各課所で行われている、県民サービス向上や業務改善に向けた意欲的な取組をレポートします。

若手職員の主導による統計情報の発信強化

統計課

ここがポイント 

- 統計の魅力を広めるため、若手職員主導でSNSによる情報発信を強化
- 多くのメディアに取り上げられるなど、統計への関心アップに効果

統計調査については、回答率を高め調査結果の精度の向上を目指すとともに、調査結果の利用促進を図ることが課題となっています。

このため、統計課では、統計の楽しさや魅力を多くの方々に伝えることが重要と考え、平成27年度からSNSを活用した情報発信を強化していくこととしました。

全国初を含む多彩な取組は、メディアにも大きく取り上げられ、統計や茨城県への関心を高めることに大きく貢献しました。

1 ツイッター、フェイスブックで年間1,000件の情報発信

若手職員によるプロジェクトチームを設置し、柔軟な発想でアイデアを出し合い、平成27年度は1,000件を超える情報を発信しました。

発信内容は、定期公表結果の迅速で分かりやすい解説をはじめ、県や県内市町村が上位にあるデータを紹介する「いばランキング」、県内小学校の入賞作品を紹介する「統計グラフコンクールコレクション」など、身近で多彩な内容で好評をいただき、フォロワー数等が急上昇しました。



「いばらき統計情報ネットワーク」で検索!!

2 「いばらき統計サポーター制度」の創設

著名人と連携して県と統計の魅力を発信する制度を全国で初めて創設し、サポーターに就任いただいた吉本タレント「オスペンギン」やラップ等で活躍する「青木智也」氏とともにイベントやラジオ、SNS等で情報発信をしています。



3 SNS統計小説「異世界統計数唄」の連載

こちらも全国初の取組として、茨城県と統計を題材とした小説を、「いばらきクリエイターズハウス」と共同で制作しました。作中に登場する県内観光地や特産物に関するデータをSNSで紹介し、県の魅力度向上にも貢献しました。



4 多数のメディア掲載

これらの取組が、様々なメディアに掲載されるとともに、他県から視察や問い合わせが相次ぐなど、県への関心を高めることに貢献しました。

(株)ぎょうせい「月刊がバカス」、日本広報協会「月刊広報」、iJAMP「知-ズアップ」、厚生労働省「厚生労働統計通信」、Yahooニュース(全国版)、新聞各紙、熊本県からの視察、他掲載・問合せ多数。

行革分権室
から一言

今回ご紹介した取組は、平成27年度目標チャレンジ「県民サービス・事務改善の部」で知事表彰されました。今年度も小学校での出前授業「いばらきおもしろ統計塾」などユニークな取組を行っています。